

法律科目試験 「刑事法系」 問題

I 次の事項について、400字以内で説明しなさい。

- ・積極的安楽死

II 次の事例における甲と乙の罪責を論じなさい（建造物侵入罪及び特別法違反の点は除く。）。

定職もなく無為徒食している甲（男、30歳）は、競馬にのめりこんで貯金を使い果たした後、闇金融業者から500万円を借りたが、返済期限が来ても返すことができないでいたため、腎臓を売ってでも金を作れと脅される等の厳しい取立てを受けていた。切羽詰まった甲は、競馬仲間である元やくざの乙（男、30歳）に、危ない橋を渡っても構わないから手っ取り早く大金が手に入る方法はないかと尋ねたところ、A銀行B支店は警備が手薄であると思うから襲ってみてはどうかと提案された。そこで甲は、同支店まで出向き、店の内外の様子を観察したが、現実には相当数の警備員がおり、その隣のC銀行D支店の方が警備員の数が少ないように見受けられたため、改めて乙に相談することなく目標をこちらに変更した。そして、窓口の行員を脅すために、一見すると本物に見えるが弾が出ない模造銃を準備した。

犯行当日、甲はこの銃を隠し持ってC銀行D支店に赴き、客を装って入店した。そして、番号札を取って順番を待ち、自分の番が来ると窓口に行き、行員X（男、20歳）に用件を尋ねられると、周囲に気付かれないようにXに銃口を向けて、命が惜しければ金を出せと要求した。たまたま銃に詳しくなかったXは、この銃が偽物で発射能力のないことを見抜いたが、甲が他に凶器を持っているかも知れないと不安になったため、抵抗することなく、このような事態のために銀行が予め用意していた現金100万円入りの紙袋を甲に手渡した。甲はこれを受け取って逃走した。